

株式会社ニチフ端子工業

圧着端子・ 圧着スリーブのパイオニア



左から 石田福利厚生委員長、森社長

創業80周年を迎えた ニチフグループ

石田 年末のお忙しい時期にお時間を割いていただき、誠にありがとうございます。では早速、御社の沿革からお教えください。

森 1941(昭和16)年に大阪市大淀区本庄で日富ターミナル製作所を設立し、銅管端子の製造を始めたのが当社のスタートです。その10年後に社名を日富電業株式会社に変更しています。そして、1955(昭和30)年に初の国産品として、圧

着端子・圧着スリーブの製造を開始しました。

さらに、1967(昭和42)年には生産の合理化を図るため鶴見区鶴見に本社工場を全面移設し、その後、圧着スリーブの製造強化を図るべく敦賀市疋田に敦賀工場を設立しています。そして、1974(昭和49)年に株式会社ニチフ電商を設立。1979(昭和54)年、日富電業をニチフ端子工業に、「ニチフ電商」を「ニチフ端子工業」に、それぞれ社名を変更して現在に至ります。

石田 今年で80周年を迎えたのですね。

森 はい、おかげさまで。でも、「ロナ禍」で式典も何もできずじまいでした。

石田 それは残念なことです。90周年は盛大にやらなければなりませんね。続いて社長のご経歴もお教えていただけますか。

森 大した経歴ではありませんよ。株式会社ニチフで17年間社長を務めまして、ずっと同じ人間がやっているのもどうかと思、今年、会長に就任いたしました。また次の新しい人に、新しいことをしてもらつたほうが会社が活性化するでしょう。工場(ニチフ端子工業)のほうはまだ私が代

表として見ていますが、若い人がどんどん出てきますし、邪魔になつてはいけませんから(笑)。こうして「ロナ禍」の時代になり、営業の在り方も変わつてきました。アフター「ロナ」を見据えて、新しい人の思考を取り入れていかなければ、昭和の古い考え方だけではもうわからんようになります。

石田 働き方もずいぶん変わったと思いませんが、リモートワークなどは継続中ですか。

森 リモートワークも、リモートによる会議や商談も継続中です。オミクロン株だ、第6波だと、また騒がれ始めていますし、感染者数が少ないからといって「まいど!」とはまだ行きにくいです。しかし、うちは海外とも取り引きをしていますが、「あれ? リモートでも大丈夫やん」という感じです。これまで高い経費をかけてわざわざ現地まで出向いていたのは何やつたんやろうと思つてしましますね(笑)。

石田 時間の節約にもなりますしね。何か新しい取り組みなどはありますか。

森 一番変わったのは、EDIを導入したことがあります。EDIとは「Electronic Data Interchange」の略称

で、日本語では「電子データ交換」といわれるものです。システム自体は以前からありますし、要するに、通信回線を通じて受発注などの企業間取り引きを自動的にやりとりする仕組み、といつたらいいでしょうか。これで、たとえ「ロナ」で営業所を開鎖しなければならなくなつても、お客様への対応が継続できます。ですから当社との取り引きは、ぜひ、このEDIを活用していただきたいと考えています。

石田 なるほど便利ですね。問題は、値引き交渉をどうするか(笑)。

森 社内の働き方改革や女性活躍推進の取り組みについてはいかがでしよう。ニチフの東京営業所で男性社員が1人、1ヶ月の育休を取りました。会社としては初めてのことです。今後はもっと増えていくのではないかと思うが。

女性活躍推進については、うちは早くから取り組んでいます。女性社員にもどんどん営業に出でもらうようにしています。駐在員としてタイに行つた女性社員もいます。行く前は少し泣つていたのですが、現地でやりがいを見いだしたのでしょう、そろそろ帰つてきなさい」と書いたら、

株式会社ニチフ端子工業
代表取締役社長 森 良夫

発電所の設備から家庭の電化製品まで、電気をつなぐ役割の端子やスリーブが必要とされる範囲は極めて広い。

圧着端子・圧着スリーブのパイオニア企業であるニチフ。株式会社ニチフ端子工業はメーカーであり、株式会社ニチフは販売会社である。とともに大阪市鶴見区の本社を中心として、ニチフ端子工業は福井県敦賀市に工場を置き、ニチフは大阪・東京・名古屋・福岡に営業拠点を展開し、各地に物流センターも配している。また、海外ではアメリカとタイに拠点がある。2021年、ニチフはグループとして80周年を迎えた。

その節目の年、株式会社ニチフの会長に就任した森良夫氏は1959(昭和34)年生まれの62歳。まだまだモノづくりに情熱を燃やす、エネルギッシュな代表である。



森 良夫 代表取締役社長

れていて、銅をアルミニに置き換える動きも活発化しているようです。

石田 なるほど、業界のバイオニアらしい新商品ですね。

「嫌です」って言つて(笑)。その頃、ターゲットが広まつて、呼び戻そうとしたら、「帰れと言うのなら会社を辞めます」と。もう訳がわかりません(笑)。一方、内勤がいいという女性社員ももちろんい



聞き手 石田 文夫(福利厚生委員長)

夏に発売予定の アルミ電線用接続端子

石田 それでは、圧着端子・圧着スリーブの専門メーカーである二チフ端子工業さんの、現在の一押し商品を、紹介いただけますか。

森 「アルミ電線用接続端子」です。

通常、アルミ電線と銅管端子などを接続する際の問題点として、異種金属接触腐食があります。難しい化学の話はさておき、電気が流れやすい状況で異なる種類の金属を接触させて使用すると、片方の金属に激しい腐食が起こる現象で、ガルバニック腐食とも呼ばれます。それを防ぐため、施工の際は電線表面の



特殊な内部処理が施された
アルミ電線用接続端子

まして、昇進事例を出したら、拒否するんです(笑)。「今ままでいいんです、ややこしいこと言わないでください」と怒られます。多様な働き方の会社です。

酸化被膜を除去するという手間がかかり、また、アルミ電線で銅電線と同じ通電性を得ようとすると、約1・6倍の導体断面積が必要になります。電線を太くしないといけないわけです。そういう課題を解決するべく試作を重ねて開発したのが、この「アルミ電線用接続端子」なのです。

最終的にはアルミニとの接触部分にグリスを詰め込むのがポイント。まずは60sq用を2022年の夏頃から発売する予定です。

石田 研究開発には、どのくらいの期間を要したのですか。

森 アルミニと銅、そして圧着工具との関係性なども考慮しなければなりません。安全性、耐久性、施工性、経済性と、あらゆる角度から検討と研究を重ねてトライアンドエラー、約5年の歳月を費やしました。

石田 背景には、やはり銅の不足があるのでしようか。

森 おっしゃる通り、現在は世界的な銅不足で、物が手に入りません。価格もどんどん高騰しています。「コロナ禍が影響しているわけですが、しかし、それ以前からも、軽くて耐久性のあるアルミ電線は注目さ

「ゴルフは大電材でも噂の腕前

石田 それでは、社長のプライベートについてお伺いします。

「ゴルフは大電材で噂になるほどの腕前でいらっしゃいますから――

森 そんなことがあります、そんなことがあります――

石田 先日、支部会で噂されていました。クラリネット科を卒業したのですが、管楽器というのはスポーツ的な要素がありま

して、若い頃とは肺活量も違いますし。それはもう昔は1日10時間だって吹いていましたから、それなりの音だったとは思いましたけれど、それほど打ち込んでいただけに、今演奏すると、昔の音とのギャップに自分自身が耐えられなくて(笑)。

石田 すると今は、もっぱら「ゴルフですね。森 はい、でも少しやり過ぎたのか、昨年に左肩の腱板が断裂しまして、手術を受けて元に戻るまでに1年ほどかかりました。今はまた以前と同じようなペースで行つてますけれど(笑)。



▲新製品の構造を解説する森社長